

Seki Gocoro

2020
05

No.1711

巻頭
特集

新型コロナウイルス危機を
乗り越えるために



Seki Gocoro 05

TOPICS

マイナポイント 7P
軽自動車税 9P
INFORMATION 14-23P
子育てカレンダー 25P

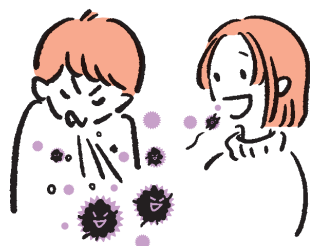
新型コロナウイルス危機を 乗り越えるために

巻頭特集

世界で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症。市内においても感染の不安、経済への影響が深刻になっています。自身が感染しない、そして他人にうつさないよう、一人一人が意識して行動し、この難局を乗り越えていきましょう。

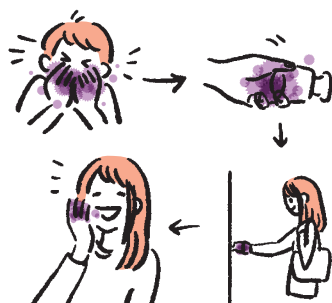
新型コロナウイルス感染症の感染経路は、**飛沫感染**と**接触感染**によるものと考えられています。

飛沫感染



くしゃみや咳、つばなどと一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

接触感染



感染者が、くしゃみや咳を押さえた手で周りの物に触れると、ウイルスが付きます。それを未感染者が触れることで手に付着し感染します。

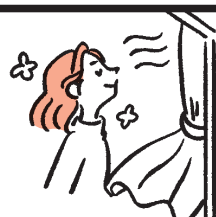
感染を防ぐために、次のことに注意しましょう

不要不急の
外出は控えて
ください



こまめな
手洗いを徹底し、
消毒を心がけて
ください

外出するときは
マスクを必ず
着用してください



定期的に換気
をするように
してください



十分な睡眠と**栄養**をとり
体調管理に気をつけてください。



3つの密を
避けてください



換気の悪い「密閉空間」



多数が集まる「密集場所」



間近で会話や発声する「密接場面」

発熱や咳など、風邪の症状がある時は、

1. 学校や会社を休むなどして、外出を控えてください。
2. 毎日体温を測定して、記録してください。



新型コロナウイルス感染症が心配なとき

1. 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならないときも同様）
以下の人は発熱が2日程度続く場合

高齢者

妊婦

糖尿病/心不全/呼吸器疾患の基礎疾患がある人

透析を受けている人

免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている人



2. 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合

いずれかにあてはまる

帰国者・接触者相談センター
に電話

〔関保健所〕

0575-33-4011（内線360）

24時間対応

平日午前9時～午後5時以外は
電話呼出対応

専門的な
助言が必要な
場合

あてはまらない

新型コロナウイルス感染症に
関する相談窓口へ電話
午前9時から午後9時（土日祝日含む）

〔岐阜県健康福祉部保健医療課〕
058-272-8860

〔厚生労働省（コールセンター）〕
0120-565653（フリーダイヤル）

受診必要

受診不要

新型コロナ外来
（帰国者・接触者外来）
を受診

検査
不要

・自宅で安静
・医療機関に
電話で相談のうえ受診
※症状が良くならない場合は、再度
帰国者・接触者相談センターに相談

検査の必要有

PCR検査

陰性

陽性

入院

（感染症指定医療機関等）



市内で広がる支援の輪 〜新型コロナを乗り越えよう!〜

大映ミシン



マスクが品薄で購入できない子どもたちのために「子ども用マスク作りワークショップ」を開催。ミシンを使って手軽にマスクを作る方法を子どもや保護者に教え、感染予防の支援に取り組んでいます。

株式会社 大映（貸上町）
代表取締役 佐々木 清隆さん

「子どもの感染を心配する保護者はたくさんいます。この取組が、少しでも子どもたちの感染防止につながってくれることを願っています。」



義春刃物株式会社

新型コロナウイルスの影響による休校で、外出できない子どもたちのために、自社が製造する彫刻刀を使って工作を楽しめる「シャインカービング」を市へ600個寄付。自宅で時間を持て余している子どもたちを支援しました。



シャインカービング
着色したビニール板を彫刻刀で彫り、スタンドグラスのような作品が出来上がる。



「能動的に手と脳を使って製作するので、子どもたちに良い刺激になると思いますし、普段使わないものに触れることは良い勉強にもなります。夢中になってくれると、うれしいですね。」



義春刃物株式会社（旭ヶ丘3丁目） 企画開発課長
株式会社シャインカービングアカデミー長
田中 淳也さん

新型コロナウイルスの感染拡大は、市内の事業所の経済活動に大きな影響を及ぼしています。しかし、そのような状況でも、市民のために、独自の支援に取り組む事業所があります。ここでは、そのうち5つの事業所を紹介します。

加治田刀剣（富加町）
刀匠 吉田 研さん



「太刀は平安時代から魔除けなどの神事で使われました。この『太刀』には、邪気を『断ち』切り、困難に『立ち』向かう思いを込めています。コロナウイルスの危機も必ず終わりは来ます。みんなで立ち向かいましょう!」



関伝日本刀鍛錬技術保存会の刀匠・吉田研さんが、新型コロナウイルスを「断ち切り」終息を願う太刀を製作し、市へ寄付されました。（太刀は、関鍛冶伝承館の休館が終わり次第展示されます。）

加治田刀剣（吉田兼久）

太刀には、「コロナウイルス撃滅祈願」と銘が入っている。

カフェ・アダチ

「自粛ムードや休校が続き、気詰まりな状況で、市民の皆さんに少しでも『ほっ』と一息つける癒しをご提供できたらと思い、自家製コーヒーを寄付させていただきました。」

カフェ・アダチ（小瀬）
代表取締役社長 小森 敦也さん



寄付いただいたアダチブレンドドリップコーヒー3パック100セットは、小学校の臨時休校により、留守家庭児童教室で長時間にわたり子どもの生活指導にあたっている指導員へ提供しました。

中国の工場で委託製造したマスク10,000枚を市へ寄付。いただいたマスクは市内の高齢者の介護事業所へ配布しました。



株式会社クリメイト（山田）
代表取締役 笈田 久雄さん
専務取締役 笈田 亮さん

株式会社クリメイト

「感染拡大を防止するために、自社でできる支援として、品不足が続くマスクを準備することを決めました。必要とされている人へ1日でも早くお届けしたいとの思いで市へ寄付させていただきました。」